



業況低迷と人手不足の両面に直面する中小企業

—全国中小企業景気動向調査より—

竹内 良

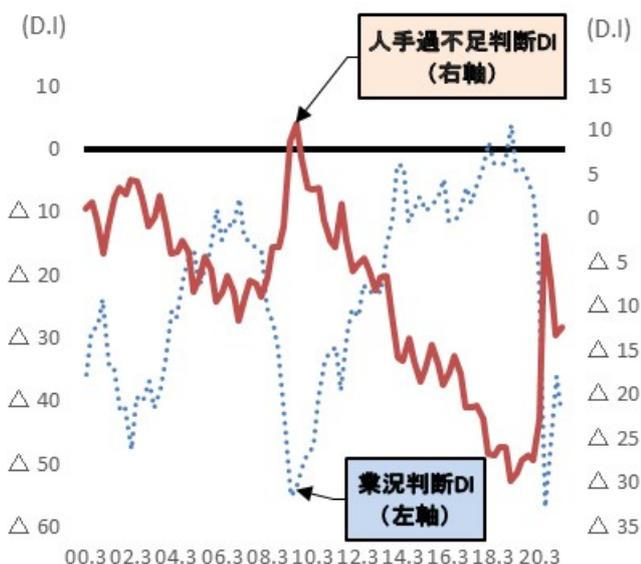
ポイント

- 信金中央金庫 地域・中小企業研究所がとりまとめている「全国中小企業景気動向調査」の結果をみると、中小企業は、全体的に業況悪化と人手不足の両面に直面していることがわかった。
- 個別企業でも、「業況が悪く、かつ人手不足である」と回答した企業が増加傾向にある。これらの企業は、業績不振と人手不足という二重苦に直面しており、特に苦しい状況にあると考えられる。
- 信用金庫としては、これらの企業に対して、ビジネスマッチングや顧客紹介などで売上の増加を図るとともに、人材を紹介するなどして人手不足の解消につなげるなどの対応が求められよう。

はじめに

信金中央金庫 地域・中小企業研究所では、全国の信用金庫の協力を得て、「全国中小企業景気動向調査」を四半期ごとに実施している。2020年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大以降、中小企業の業況は大幅に悪化して推移している。一方で、これまで業況悪化時には大幅に緩和していた人手不足感については、今回においてはさほど緩和しておらず、多くの中小企業が業況低迷と人手不足の両面に直面している。そこで今回は、人手不足感について過去との比較を中心にまとめた。

(図表 1) 業況判断DI と人手過不足判断DI の推移



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

1. 中小企業の人手不足感の現状

業況判断DI と人手不足判断DI とは、逆相関の関係（業況が良くなると人手不足感が強まり、業況が悪くなると人手不足感が弱まる。）にある（図表 1）。過去には、リーマンショック時のように業況が急速に悪化したときは、一時的ではあるが、人手過剰に転じていた。

しかし、今回のコロナショックにおいては、業況がリーマンショック時並みに悪化したのに対し、人手はいまだに不足感が根強い。直近の2020年12月調査をみると、業況判断DIは $\Delta 36.2$ とかなり低い水準にあるのに対し、人手過不足判断DIは $\Delta 13.3$ と人手不足感が強い。コロナ直前と比較すれば不足感は緩和しているものの、人手不足に悩む企業がいまだに多いことがうかがえる。

業種別にみると、特に建設業で人手不足感がとりわけ強い。もともと、ほかの5業種においても、製造業では2020年6月と9月、卸売業では2020年6月に一時的に人手過剰に転じたのを除けば一貫して人手不足が続いており、中小企業の人手不足は、業種を問わず幅広い現象であると言える（図表 2）。

コメントからは、「コロナの影響で輸出入が減少しており、売上也減少している。人手が多いと感じている。（配電基盤等の制御盤製造愛知県）」、「航空機需要の低下により売上減少

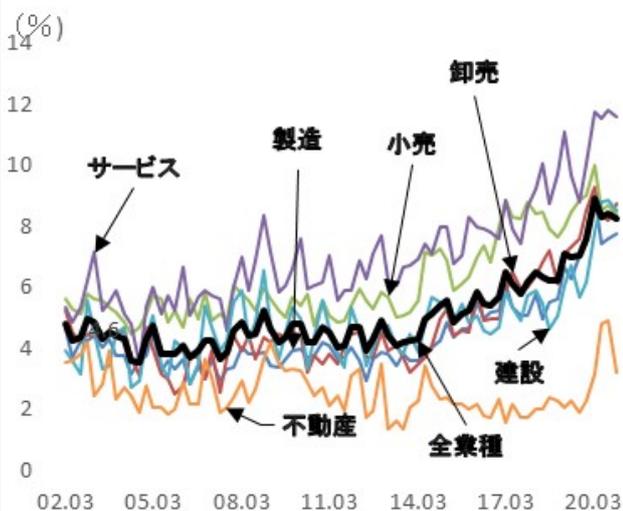
している。国産航空機の開発凍結により、今後の見通しは不透明。人手も余っており、派遣先を模索している。(航空機部品組立 三重県)のように業況悪化に伴い人手が過剰になったとの声が聞かれている一方で、「従業員が不足し、高齢化も進んでいるため、断る仕事も多くなってきている。広告等では若い人の応募がない。実績ある若手従業員の確保が急務となっている。(塗装工事 北海道)」、「新規アルバイトを数名雇ったが、いまだに人手不足に苦しんでいる。特に調理場の人員が少なく、弁当やオードブルの注文を断っている。人材育成と業務遂行の両立が難しい。(一般食料品、魚介類 岩手県)のように人手不足によって収益機会を逃している企業も散見されている。

2. 業況低迷のなか人手不足に苦しむ中小企業

全体的に業況低迷と人手不足感が続くなかで、個別企業でみても、「業況が悪く、かつ人手不足である」と回答した企業が増加傾向にある(図表3)。業種別ではサービス業や小売業、規模別では従業員が20人から49人の中堅規模の企業で特にその割合が高い。これらの企業は、業績不振と人手不足という二重苦に直面しており、特に苦しい状況にあると考えられる。

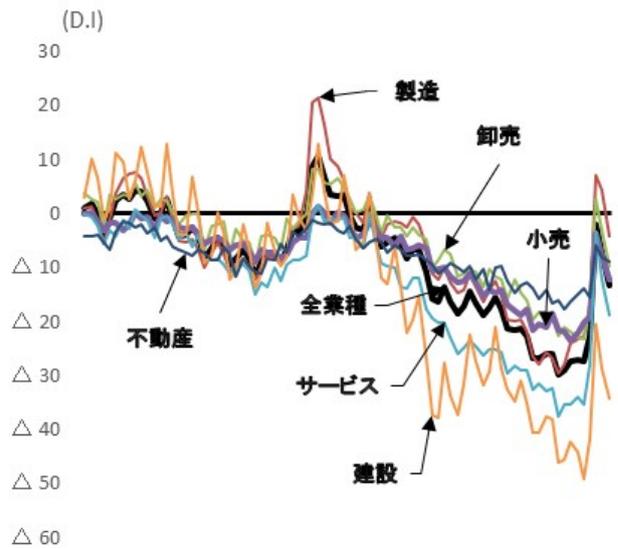
また、今後、コロナショックから回復していくなかで、コロナショック以前の強い人手不足感が再来する可能性があるが、これらの企業は人手不足のための景気回復の動きに乗り遅れる可能性がある。

(図表3) 全企業に占める、「業況が悪い」かつ「人手が不足」と回答した企業の割合
 <業種別>



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表2) 業種別に見た人手過不足判断DI



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

おわりに

今回の調査からは、中小企業はコロナショックと人手不足というかつてない逆風に見舞われていることがわかった。人手が足りないから売上の維持が難しく、業績が不振だから人を雇えないというジレンマを抱える企業が増加している。

信用金庫としては、これらの企業に対して、ビジネスマッチングや顧客紹介などで売上増加の支援を図るとともに、人材を紹介するなどして人手不足の解消につなげるなど、悩み事を正確に把握した上でのきめ細かい対応が求められる。以上

<規模別>

